



第12号

発行日 2011.5.16

ゆいかもめ

～自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ～

巻頭言

施設長 須永 正

巻頭言としてはふさわしくない話題かも知れませんが、お許しください。

計画停電など聞きなれない言葉が飛び交っています。街はなんとなく薄暗く、節電への関心の強さがうかがえます。大震災に加え、福島原発の事故が追い打ちをかけ電気の供給量が著しく低下しているとのことです。私たちが享受してきた電気の供給がこんなにも脆弱だったのかと驚かされます。復旧現場の方々は大変なご苦労だと思いますが、十分な安全管理の上で全力で取り組んでくださることを祈ることしかできません。

ただ、原発については、このままでよいとは思えません。原子力エネルギーはクリーンで低コストで安全ですと宣伝されてきましたが、一気に覆されました。原発に対する漠然とした不安はありましたが、いつの間にか時代のエネルギー政策に飲み込まれ、その作られた電気を使い、我が家にも複数台のテレビやエアコンが当たり前のように鎮座しています。

私は、今、福島原発周辺に居住していた皆様に思いをはせ、決して福島県だけの問題とせず、日本全体の、世界全体の問題として改善へ向けて一人ひとりが考え行動していく必要があると感じます。原発はいいと言い切るのは難しい状況ではありますが、いま福島県民の受けているご苦労を思えば、人の命を軽んじ生活を踏みにじる原発はいらない。

私は今まで、福島の人たちを危険な目にあわせながら電力を享受してきたことを猛省し、生活を見直し、節電に努め、代替エネルギーの開発に関心を持ち、原発を推進してきた政策を変えることが必要だと感じています。一人ひとりが決意し、小さな一歩でも踏み出す必要があります。街は薄暗いままでも良いではありませんか。



目次:

巻頭言	1
707A紹介・広報担当紹介	2~3
入所式	4
慰労会・給食たより	5
スタッフ紹介	6
防災無線	6
足跡・お知らせ・編集後記	6

後援会ご協力のお願い

社会福祉法人武蔵野会が経営する23施設の利用者のためによりよい環境や施設の充実・施設の円滑な運営などを物心両面から支える組織として、武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により会の拡大をはかり、法人の運営基盤の確立を応援していますので、ご協力をお願い申し上げます。

武蔵野会後援会事務局

〒193-0931 東京都八王子市台町1-19-3

電話 042-626-9772

広報誌担当紹介

今年度、広報誌担当になりました堀田・海老名・海野です。海老名は昨年度に引き続きの担当となりますが、堀田・海野は広報誌を担当するのは初めてのことで、今からドキドキしています。

ホームページの更新も随時行う予定ですので、広報誌・ホームページ共にご意見・ご感想・ご要望等を頂ければ紙面に反映させて頂きたいと考えています。

1年間、どうぞよろしくお願いします。



ご意見・ご要望、
お待ちしております！

(海野)

フロア紹介【1階】

1階は昨年度よりスリム化を図り、現在15名の利用者さんが所属となりました。

作業スペースが広がり利用者の方々からは“ゆったり仕事ができるようになった”などの声が挙がっていました。

作業は昨年に引き続き、主に終端クランプ（電気部品）組み立てに取り組んでいます。

ゆったり作業を行う方、作業に集中して取り組む方…様々な方がいらっしゃるの、個別ニーズを一番に考えて支援をさせていただきます。



(左から) 桐ヶ谷、海野、経塚、安藤

1階での主な作業は
クランプです。



集中して作業を行って
います。

(経塚)



フロア紹介【2階】



(左上から)高橋、海老名、稲留、堀田
石井、浦中、澤口

2階には1階から移動された方と今年度入所された方を含め6名が増え、今年度32名の利用者さんが所属。授産施設から就労支援施設になり、2階には実習参加を希望する方も多く、就労を目指す方が6名いらっしゃる活気にあふれた作業室です。集中して作業に取り組んで頂ければと



集中して行えるよう個別スペースを設けたり、作業を協力して行える大きな作業台を用意しています

考え、個別作業スペースを増やす等、室内のレイアウトも少し変えてみました。

作業は箸作業、部品のトレー並べ等が主ですが、書店で文庫本をディスプレイする際に使用する紙製の台の組み立てセット等、テクニックと丁寧さが必要な作業も行っています。利用者さんそれぞれの希望や目標に沿う支援を行わせて頂きます。(稲留)

フロア紹介【事務所】

きね川福祉作業所の事務所には6年間(も!)変わらない3名(施設長、主任、栄養士)がおりますが、この度同じ葛飾地区の西水元あやめ園から異動してきた事務の清水照己さんが加わり、ますます明るさが増すことになるでしょう。

今年度もよろしくお願いいたします。(宇田)



(左上から)
栄養士:六井、事務:清水
主任:宇田、施設長:須永



慰労会



3月31日今年度の締めくくりの慰労会です。今回も実行委員を募り準備を行ってきました。

今年の慰労会は、個人の出し物（歌・楽器演奏）等クリスマス発表会や新年会で披露することが出来なかった分、皆さん「やりたい」という方が多数となりました。

この日の為に練習してきた成果を発揮し会も盛り上がり、途中飛び入り参加や一年間を振り返り感極まったのか涙する場面も見られました。

歌の間には『今年度頑張ったことや反省』を一人一人に発表してもらいました。「仕事を頑張る」「実習を頑張った」等来年度に向けての意気込みや反省が聞かれていました。またスポーツクラブの村山先生と一緒に全員でダンスを踊り楽しみました。

一汗流した後は、お菓子や飲み物を口にしなが施設長からの話に皆さん真剣に耳を傾けていました。最後はお待ちかねの担当発表があり、次の日の新年度スタートを心待ちにしているようでした。また来年の「慰労会」でたくさんの「頑張った！！」が聞けたら良いなと思います。



歌やダンスに大盛り上がり



(浦中)

給食だより



食堂紹介

おいしい給食を作ります

きね川福祉作業所の食堂は窓に囲まれ、明るく季節の変化を感じられる場所です。

しかし今年度、耐震工事が行われ食堂も工事対象になります。工事後は今までの心地よさを残し、より良い環境で給食が食べられるように工夫したいと思います。

(六井)



大田さん・大橋さん

よく噛み味わって食べて下さい。

お茶と食札を持ち
好きな場所へ



入所式



ニューフェイスの逸見一夫さんです。

4月に入っても寒い日が続き、桜の開花も遅れ気味だった2011年度ですが、今年も1名のニューフェイスが仲間入りしました。

今年の3月に都立葛飾特別支援学校を卒業した逸見一夫（へんみかずお）さんです。

逸見さんは学生時代にきね川で実習を経験し、その時から「きね川に通いたい。」という希望をお持ちで今年それが実現しました。

工賃が出たらお母さんにプレゼントを買いたいとおっしゃっているお母さん思いの逸見さんを皆さんもどうぞよろしくお願いします。（宇田）



逸見さんにインタビュー

逸見さんインタビュー

・好きな食べ物は
すきやき

・作業所で頑張りたいことは
公園清掃

・お給料で買いたいものは
ゲーム

・何か一言
うれしい

逸見さんに色々質問をしてみました。

アンケートの質問を一つ一つ読み上げ、答えに悩んでいる場面もみられましたがきね川の一員として『仕事を頑張りたい！』と力強く答えていました。

また、お母さまからも『皆と一緒に頑張ってもらいたいです。子供から大人に成長し、これからが楽しみです。よろしくお願いします』とコメントをいただきました。



部品の組み立て作業を行っています。

アンケート内容

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①好きな食べ物：すきやき | ②作業所で頑張りたい事：公園清掃 |
| ③お給料で買いたいもの：ゲーム | ④何か一言：うれしい |

直筆のアンケートです。

スタッフ紹介

- ① 血液型
② 好きな4文字熟語
③ 自分を動物に例えると

清水 照記

- ① A型
② 一期一会
③ ねこ



石井 竜治

- ① O型
② 虚心坦懐
③ くま



災害伝言ダイヤル



月始めの1日が「災害伝言ダイヤル」の練習体験ができる日と知っている方は多いと思いますが、実際に利用している方は少ないようです。今回の震災では、本人に電話が繋がらず確認に時間が掛った方が多くいたようですが、災害伝言ダイヤルは安否確認の確実な手段の一つです。当所では今後職員が持ち回りでメッセージを吹き込む事とし、保護者の皆様や関係者が「災害伝言ダイヤル」を身近な物と捉えて頂くため、お決まりのメッセージで無く、職員の近況等工夫したメッセージを入れる事により、皆さんが伝言ダイヤルの利用を習慣付けて頂ければと考えています。今後「災害伝言ダイヤルの使い方」についてホームページに掲載していきます。(稲留)

ボランティアを

募集しています！

年間を通して、作業のお手伝い(軽作業・公園清掃)や、クラブ活動の補助(スポーツ、音楽、創作)、または行事(外出、旅行、お祭り等)のお手伝いをしてくださるボランティアを募集しています。曜日や時間帯、活動内容等で希望がありましたら、お気軽にご相談下さい。(担当：澤口、桐ヶ谷)

軽作業請け負います！

当作業所では、一般企業・商店等からの下請け作業を、格安な単価で承っております。また、新小岩公園・近隣児童遊園の清掃業務なども行っています。

ご連絡いただければ、すぐに担当職員がお話を伺いに参ります。また当作業所に直接お越しいただいても結構です。

いただいた報酬は、必要経費をのぞき、すべて当作業所利用者の皆様の工賃とさせていただきます。

(担当：経塚、稲留)

編集後記

世間が震災で騒がれているなか、我が家では4月に入ってすぐに第2子が誕生し一層賑やかな毎日を送っています。その中で苦労している事は水道水についてです。乳幼児が飲んでも大丈夫と発表もありましたがやはり将来の事を考えると心配になります。また販売水なら何でもいいわけではなく、硬度が100以下の軟水、バナジウム天然水やアルカリイオン水と記載されているものは適していない、ミネラル含量が少ないもの等基準があり、水についていろいろ勉強にもなりました。(E)

足跡

2月

- 2日 献立会議
2日 調理活動
10日 調理活動
14日 保護者会
15日 工賃支給日
17日 調理活動
23日 白鳥交流実習
24日 調理活動

3月

- 2日 献立会議
11日 保護者会
11日 白鳥交流実習
25日 工賃支給日
31日 年度末慰労会

4月

- 4日 入所式
6日 献立会議
8日 保護者会
12日 健康診断
15日 工賃支給日
20日 白鳥交流実習

- *毎週月曜日 内村Dr. 来所日
*毎週水曜日 田中Dr. 来所日
*毎週木曜日 クラブ活動

社会福祉法人武蔵野会

きね川福祉作業所

施設長 須永 正

東京都葛飾区東四つ木3-8-10

電話 03(3694)1577

FAX 03(5698)1757

E-mail: kinogawa2939@coda.ocn.ne.jp

HP: <http://www.ans.co.jp/apf/kinogawafukushi/start/>